

# 子育て支援/家庭教育支援の取り組み

ひとりの子育てからみんなの子育てへ

NPO法人わこう子育てネットワーク

共同代表 森田圭子

NPO法人わこう子育てネットワーク

1

NPO法人わこう子育てネットワーク

2

子育ての孤立はどんな影響を与えるでしょうか。



子どもに



家族に

社会に

子育て中の当事者＝和光市に住みこそだてに悩む私たち  
「自分ごと」のそのビジョン・ミッションは

いい子育てをしたいと思うのに、イライラして子どもにあたったり。。。  
うまく対応できなかったり、子どもの育ちがこれでいいのか、どうしたらいいのか、  
なにかいい情報があるのか、誰かに聞きたい、みんなどんな風にしているのか見てみたい。。

ひとりの子育てからみんなの子育てへ'00

社会的な意識へ  
大人も子どもも心豊かに暮らす  
子育てしやすいコミュニティ作り(H16/2004)

わたしたちが取り組む社会課題

子どもの育ち

丁寧でポジティブなかかわり  
が特に重要な乳幼児期  
(脳の発達期、胎児期から  
生後1000日)  
多様な人と出会う体験、  
遊び、刺激の機会

子どもの育つ環境  
親

子育ての  
孤立

子どもの育つ環境  
地域

地縁血縁のコミュニティが希薄化している  
少子化で子育ては少数派になり子どもや子育ての現実が  
理解されにくく他人事、関係ない人が増えている  
子育てを助けたいと思っても関わりにくい世の中

3

4

# 家族の孤立を乳幼児期から 防ぐための取り組み (2000~)

仲間づくり、地域での出会いの場づくりの取り組み  
子育てサロン、プレーパーク、外国籍の親子、家庭訪問

NPO法人わこう子育てネットワーク

5



子育て広場で子育て仲間づくり  
子育てサロンからもくれんハウスへ  
(和光市委託事業 2004~)

## 和光市北第二子育て世代包括支援センター おやこ広場 もくれんハウス (2012~)



- ①気軽な親子の居場所(無料)  
仲間づくり・交流の拠点  
子育ての不安を相談できる場所
- ②和光市わこう版ネウボラの拠点  
「産前からの切れ目のない支援」  
のケアマネジメント相談支援の拠点として位置づけられる場所

NPO法人わこう子育てネットワーク

7



和光市ホームスタート事業 家庭訪問型子育て支援  
ボランティア養成講座 1月18日~

研修を受けた地域の子育て経験者が サポートを受けながら定期的に乳幼児家庭を訪問し、良き友人として傾聴と協働をするボランティアの寄り添い支援(産前期から低学年まで拡大) 和光市委託'15~

8

## 多文化子育て支援～通訳サポートー

子育て中の外国籍家族へ、保育園、幼稚園、学校などの施設同行や説明会や個人面談の時に同行（協働型委託’17～）

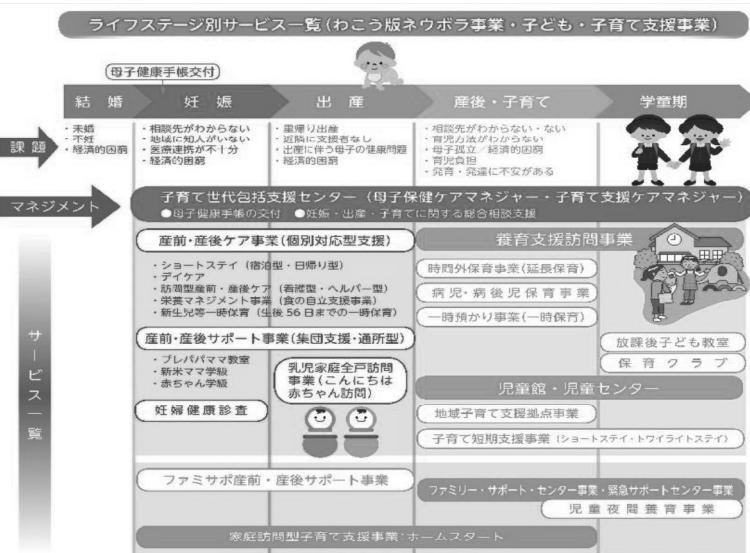
- ・サポートーは有償ボランティア  
⇒教育委員会から学校の外国人児童指導員人材の依頼を受け、これまで数人紹介している



NPO法人わこう子育てネットワーク

9

2012から  
和光市  
施策の変化



わこう版ネウボラでは、母子健康手帳を地域のネウボラ拠点で交付し、妊娠期から出産・子育てに関する相談支援を母子保健ケアマネジャー及び子育て支援ケアマネジャーが一環して行います。その支援は、母子保健及び福祉の視点をもち、経済的問題等にも対応します。

## 子どもの育ちを支える～プレーパーク

プレーパーク（冒険遊び場）は、子どもが主体となり自由に遊ぶ場です。自然の草木や土や水に触れたり、たき火や昔遊び、工作をしたり、子どもたちがやりたいと思ったことを実現してくれる環境を整えています。プレーパークは、子どもたち、地域の皆様、プレーワーカー、行政と私たち運営団体が協力して遊び場づくりを行なっています。（'15～

実施時には各小学校でチラシを配布



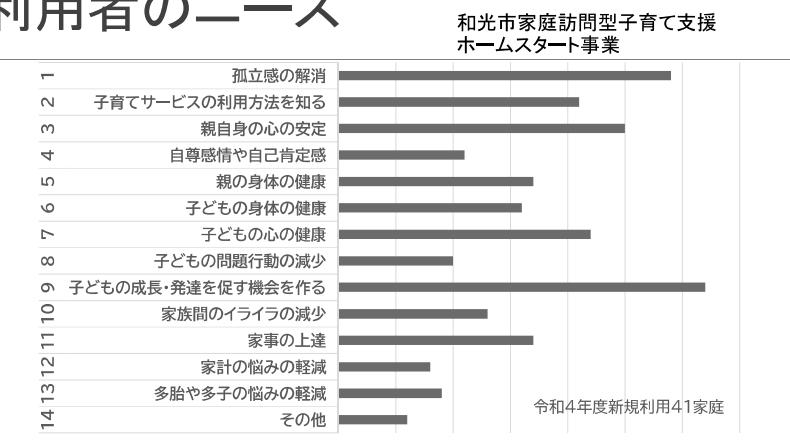
NPO法人わこう子育てネットワーク

10

## 和光市でこれまでに出会った 子育ての孤立と育児ストレスを抱えた家族

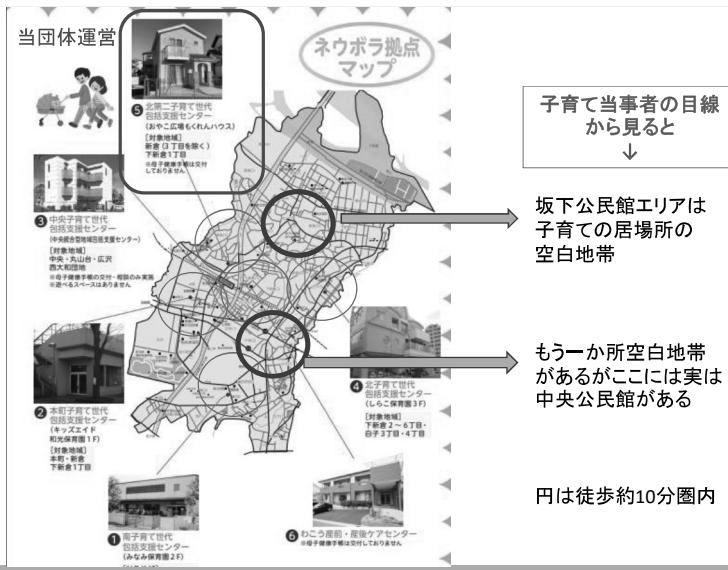
転居（転勤、避難生活、外国人）土地勘も情報もない  
初めての育児の経験知識不足からくる不安  
多子、年子、双子の育児ストレス・イライラ  
育児と仕事で余裕・時間がない（ひとり親家庭など）  
里帰りから戻った・夫の産休明け、復職→急な環境変化による孤立感  
親や子どもの体調やメンタルヘルスの不調、障がい  
経済的に苦しい、出かける手段がない  
コミュニケーションに積極的なタイプではない  
リアルに子育て仲間ができるない、SNS仲間同士で成長の違いによる疎外感  
親と絶縁して、亡くなって、頼りになる人がいない  
etc...

## 利用者のニーズ



## 子育てサロン 坂下公民館で 復活したわけ

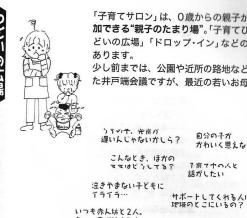
- 社会教育委員会での答申が根拠、きっかけとなつて一館との協働が可能になった(きちんと書面で取り交わして役割を分担して貸館での事業ではない)
- これまで少なかった家庭教育支援の取組
- NPOなど市民との連携での強化



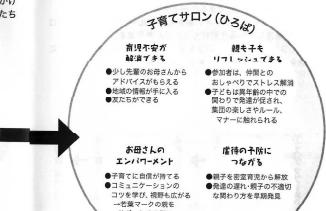
2021から  
子育てサロン  
@  
坂下公民館

まだ拠点がなかった一番最初に  
実施していた子育てサロン、  
子育ては生身、リモートではできない  
コロナ禍後、減る  
対面で会う場、機会  
地域に行きやすい対面の場を

## 子育てサロン なんてなあに?



には、こうしたお付き合いも自然にはにくく、仲間に入りづらいと思われる親たちたくさんいます。  
そこで、乳幼児を持つ親が、1人でも安心して参加できるパブリックな親子の交流スペースが必要になってきたのです。



ではないでしょうか。毎回、幼い我が子とふたりだけの毎日が、その頼りますます大きくなっています。  
そんな子育ての中の人、「自分だけ我が家を育てようと思わないで、肩の力を抜いてほしい、もちろんあなたも子どもだけれど、地域の中でもあるのだから、仲間の輪もひかり育ててほしい」、自分もあなたと同じがいい!、私たちも親友ないしょくおしゃべりして「子育てサロン」が大切なのだと思います。だから一人ぼっちの人が一番参加しやすく、ほっこりできるような親子の「たまり場」に、かかるるみんなで育てていよいですね。(清水玲子)

2002年作成 子育てサロン広場づくり研修会テキストより

## なぜ子育てサロンを復活したか コロナ禍で社会は?

マスク・ソーシャルディスタンス・時間・飲食禁止→ 支援は予約  
仕事がリモート、実家に帰れない 核家族だけでのつながり  
産後うつの増加(研究結果 産後1年の産婦の3割 コロナ前は1割)  
人が集まる場に行くのが怖い、家族の反対、周りの目、どうしたらいいかわからない  
家にこもる人、出るきっかけを失う、なかにはコロナの罹患家族の疎外感・孤立感も

長期間・ライフスタイル、コミュニケーションの変化  
⇒少子化の進行、家族だけのつながり  
子育て家庭の孤立はより深刻 ~対面の場を

第4回のご案内です。ご興味ある方は是非ご参加ください。毎月第2火曜日開催予定です。  
赤ちゃん、未就園児のお母さんガルトができる場です。おしゃべりや、あそびをしましょう。

令和4年度  
子育てサロン  
@坂下公民館

お母さんがおしゃべりして、  
ホットができる場

お母さんの  
気持ち大切にできる場

お母さんの  
気持ち大切にできる場

おしゃべり広場  
子育てサロン

坂下公民館 本館 会議室 (佐光市新倉3丁目4-18)  
9/13(火)10:00~12:00  
10時からはじまります。11時45分からは「あそびうた」、12時終了です。  
子育て中のあれこれをお聞きしておしゃべりしましょう。どうぞ、お子さん連れでいらしてください。対象どなたでも、参加無料、予約は不要です。  
会場には、子育て経験のある担任を含むスタッフがいます。  
大人はマスク着用、手元の消毒、検温など感染対策には留意して行います。  
水分補給の飲み物は各自お持ちください。

NPO 法人わこう子育てネットワーク  
お問い合わせ: 080-8807-8462

## 子育てサロンの様子



NPO法人わこう子育てネットワーク

17

## 子育て支援・家庭教育支援は 養育者の力を引き出す・育てるエンパワメント

受容と共感、理解しようとすることが大事

傾聴

非審判的態度

仲間や相談できる誰かとつながる  
信頼関係

知識や情報提供

気づき、前向きな気持ちを支える



NPO法人わこう子育てネットワーク

18

子どものウェルビーイングを目指して  
顔の見えるつながりを地域に作っていくこと

そして

地域コミュニティの顔の見えるつながりは  
子どもと家族を長期間に渡って支える  
次の社会を作る子どもたちを支えるのは私たちの将来を支えること  
ひとりの子育てからみんなの子育てへ  
子ども子育て支援は地域のまちづくり

NPO法人わこう子育てネットワーク

19

NPO法人わこう子育てネットワーク



NPO法人ホームスタート・ジャパン



NPO法人わこう子育てネットワーク

20